

# 遊便

広報誌：「遊便」（第18号）  
 発行：医療法人 仁風会 八雲病院  
 発刊日：2020年4月2日

## 巻頭言

「人を良くする」

栄養課課長 河野 理恵

私が、所属しております栄養課は、管理栄養士二名、調理職員九名（パートも含む）、シルバー人材センターからの派遣職員三名の計十四名で入院患者様の毎日のお食事、認知症デイケアやくもと精神科デイケアたんぽぼの平日の昼食を提供しております。

調理職員の仕事は、不規則な勤務時間と一日中立ちっぱなしの重労働でなかなかこなすのは大変な仕事です。

近年松江圏域の病院施設においても調理職員の高齢化、若年層の離職等により人材の確保が難しくなってきたことが問題となっています。厳しい状況の解決を探るため、また施設間の連携を図るため、松江赤十字病院が中心となり、「松江の栄養・食事に関する連携を考える会」が昨年発足されました。三ヶ月に一回開催され、当院からも栄養士のみでなく、調理職員も交代で参加してもらっています。普段調理職員は他の施設の方との交流がないので、他の施設のことを知る機会となり良い刺激になっていると思います。

当院でも人材確保が困難になっていることから、平成二十八年よりシルバー人材センターからの派遣を受けております。平日の四時間、昼食の盛り付け、野菜の下処理等病院職員と連携し、業務をこなしてもらっており

ます。

以前、前院長が、「栄養課は病院において決して目立つ部署ではないが、食べるということでは長期入院されている患者さんにとって唯一の楽しみである。縁の下の力持ちであることに自信をもって頑張っ欲しい。」と言ってくださったことがあります。

「食」という字は、人を良くすると意味します。病院において給食は治療の一環であると同時に患者さんにとって楽しみであるということを意識しながら、日々頑張っと思っています。



笑顔も最高のスパイスです！

巻頭言	1	遊便第十八号もくじ
特集 「映画における 精神科医療」	2	
法人内研修	3	
いのちの電話 との関わり	3	
法人アクセス	4	

発行元：  
 〒690-0033  
 松江市大庭町1460-3  
 医療法人仁風会 八雲病院 広報委員会  
 電話：0852-23-3456

～100年前を描いた「夜明け前」と現在に描かれた「閉鎖病棟」の2本の映画を見て～

## 100年前の精神科医療

昨年、精神科医療に関係した映画を2本見ることがありました。1本は「夜明け前～呉秀三と無名の精神病者の100年～」という映画で、明治～昭和のはじめにかけ東京大学医学部精神科教授などとして近代精神医学の基礎を作られた呉先生の足跡をたどったものです。

精神疾患に対する治療薬も無く（薬が開発されたのは1950年代）、「精神病患者監護法」という法律（1945年廃止）で私宅監置（平たくいえば、家族の責任のもと、自宅内に座敷牢を作り留め置く事）が認められていた時代に、院長に就任した松沢病院では使われていた身体拘束具を焼き捨て、様々な作業などを行うなど開放的な環境での療養を実践されています。また、1918年に私宅監置の実況調査を実施、その報告書に「我が国の精神病患者はこの病を受けた不幸の外に、この国に生まれた不幸を重ねるもの」であり「精神病患者の救済・保護は人道問

題にして、我が国目下の急務である」と述べています。

## 現在の精神科医療

もう1本は「閉鎖病棟」という映画です。笑福亭鶴瓶さんや綾野剛さんが出演されています。内容の紹介は省きますが、病棟の様子や入院患者さんの生活の様子など、誇張されることも美化されることも無くリアルに描写されていると思いました。

この映画のタイトル「閉鎖病棟」という言葉ですが耳慣れない方も多いと思います。言葉通り出入り口が施錠されている病棟のことです。おそらく殆どの精神科病院では、閉鎖病棟と施錠されていない病棟（開放病棟と言ったりします）があり、入院患者さんの病状などによりどの病棟で療養するかが決められています。

話は少しそれますが、精神科特例というのをご存知でしょうか。これは1958年に出された病院の人員基準に関する通知で、外科や内科等と比べ、医師は1/3、看護師は2/3となっています。医師は他の診療科は入院病床16床に1名ですが精神科は48床に1名です。もちろん、マンパワーが少ないから閉鎖病棟があっても仕方が無い、というつもりは全くありません。

## 「人と人」との繋がり

平成5年の障害者基本法で初めて福祉関係の法律で「精神障がい者」が規

定され、平成7年に精神障害者手帳制度が創設、その後の障害者自立支援法や障害者総合支援法により支援サービスも整いつつあり、高齢者同様「地域での生活を」という流れになってきています。

しかし、制度やサービスが整ったとしても、それを利用するのも支えるのも「人」であり、障がいや病気の有無に関わらず私たちの生活は「人と人」との繋がりの中で営まれていくものです。

呉先生が「精神病患者の救済・保護は人道問題として我が国目下の急務である」と訴えた実況調査から100年が経った今、誰もがお互い「人と人」として向き合い、繋がりを持ちながら安心して過ごせるようになってきているのか、改めて考えさせられました。

（精神保健福祉士 貝谷）



『閉鎖病棟 それぞれの朝』のポスター（2019）

## 夜明け前

呉秀三と無名の精神障害者の100年



我が国十何万の精神病患者は実にこの病を受けた不幸の外に、この国に生まれた不幸を重ねるものというべし。精神病患者の救済・保護は実に人道問題にして、我が国目下の急務と謂はざるべからず。 呉秀三

『夜明け前 呉秀三と精神障害者の100年』きょうされん・日本精神衛生会制作（2017）

## 法人内 研修

# 不審者対応訓練を実施しました

今年度も令和元年10月24日、11月14日両日において、松江警察署の署員の方に来院していただき、不審者対応の研修会・対応訓練を開催しました。

### 不審者との間を取る

研修会においては、主に不審人物との間の取り方や距離感の体験、サスマタの使用法、簡単な護身術等実技を中心とした研修を行いました。

### 本番さながらの現地訓練

不審者対応訓練においては、当法人の相談支援事業所・地域活動支援センター ビ・フレンドリングを訓練場所として、不審人物が建物内に侵入し、施設内に居座っているため職員が退去を求め、次第に興奮し刃物を振り回し暴れ回る想定で行い、施設利用者を屋外に避難させたり、法人のマニュアルに基づき、敷地内施設に応援を要請し、同時に110

番通報を行う訓練を実施しました。

今年度で3回目の訓練になりますが、本番さながらの状況の中、いざ、凶器を持った不審者に対しては、恐怖心などもあり思うような対応ができない場面もありましたが、訓練に参加した職員は、実際に近い訓練で不審者対応の貴重な体験ができた、との感想でした。

訓練後には、松江警察署の署員の方より、訓練講評をしていただき、不審者の再侵入の防止措置や現場保存など、事後の対応についてもお話いただきました。

訓練の反省点を含めて部署間で共有し、有事の際に落ち着いた対応ができるようにしていきたいと思っております。（狩野）



本番さながらの緊迫した不審者対応訓練の様子

## 法人 活動紹介

# いのちの電話との関わり

令和元年9月29日、社会福祉法人島根いのちの電話が開局40周年をむかえ、記念事業として、記念式典と記念講演会が、松江市内で開かれました。平成11年7月から平成27年12月まで、故角南讓前院長が島根いのちの電話の理事長を務めていました。

### いのちの電話とは…

「いのちの電話」は、自死予防を主な目的とした悩みごと電話相談です。人生のさまざまな悩みや心の危機に直面しながら、身近に

相談できる相手もなく、孤独や不安に苦しむ人々に、電話を通して良き聴き手となり、心の支えになろうとすることを目的としています。1953年にイギリスで始められ、現在では世界中の主な都市で設立され活動しています。日本では、1971年に東京に「いのちの電話」が開設されて以来、現在では50センターが日本各地で活動しています。

### 島根いのちの電話

島根いのちの電話は、昭和54年(1979年)7月10日に日本で7番目に開局し、以来40年間

1日も休むことなく、悩みを抱える人々の声に耳を傾け、毎年1万件を超える相談電話を受信しています。

### 40周年記念式典

今年40年の節目を迎え、「いのちの電話」の活動を広く知ってもらうために、これまで島根いのちの電話に支援をした団体に感謝状が贈られ、東京大学社会科学研究所教授玄田有史先生の記念講演会が開催されました。当法人も、その中の一団体として表彰を受けました。

（森脇）



わたくしたちは心の声を大事にします  
わたくしたちは医療水準の向上に努めます

八雲病院

## 医療法人 仁風会

○八雲病院(外来診療時間午前中のみ受付時間)

平日8:30—12:30/土 8:30—11:30

休診日…日曜日、祝日、お盆、年末年始

松江市大庭町1460-3

電話(0852)23-3456

FAX(0852)23-3495

・デイケアたんぼ(精神科デイケア)

月曜日—金曜日 午前9:30—15:30

・デイケアやくも(重度認知症デイケア)

月曜日—金曜日 午前9:00—15:30

・八雲病院 居宅介護支援事業所

○コスモス(自立訓練【生活訓練】事業所)

松江市大庭町1459-1

電話(0852)23-3360

FAX(0852)23-3370

○ビ・フレンドリング(地域活動支援センター・相談支援事業所)

松江市大庭町1461-3

電話(0852)23-4111

FAX(0852)23-4112

○雲陽の里(認知症グループホーム・介護保険)

松江市大庭町1459-1

電話(0852)23-3700

### ご意見箱

広報誌「遊便」に対するご意見・ご感想などございましたら、是非下記までお寄せいただくと喜びます。今後とも医療法人仁風会八雲病院、広報誌「遊便」共々よろしく願い致します。

(医)仁風会 八雲病院  
広報委員会まで

### 苦情件数

2019年10月~2020年2月  
23件

今回の巻頭言は、栄養課の業務についての内容でした。日頃、給食を目的とする機会がありますが、季節ごとの行事や、イベントに合わせたメニューがあったり、自分で好きなメニューを選べる日もあります。日々欠かすことのできない食事への工夫、努力が患者さんの楽しみや健康につながっていると感じました。

(笠置)

### 編集後記

お知らせ

### ホームページのご案内

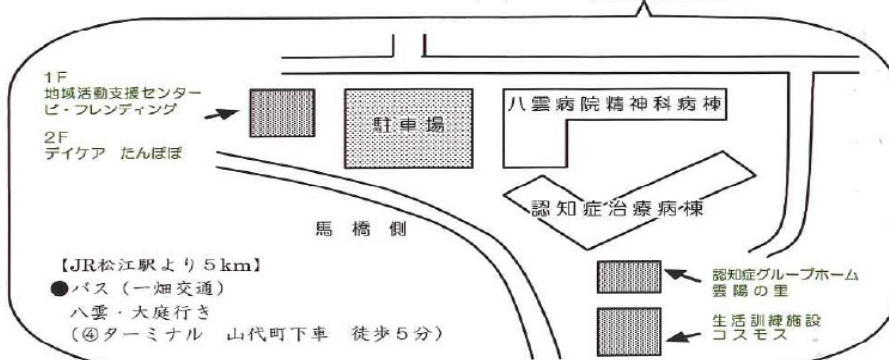
当法人の各種サービスについてホームページで紹介しております。スマートフォンにも対応しています。ぜひご覧ください。

アドレス <http://www.yakumohp.net/>



### 八雲病院来院ルートのご案内

※平成30年8月25日より



市営バスもあります